

あなたも“数字に強い”ビジネスパーソンをめざしませんか？

“ざっくり”学ぶ財務諸表



日時 2019年12月12日(木) 13:30 ~ 16:40 《お申込締切日：12月10日(火)》

会場 文昌堂ビル 10階 会議室

東京都台東区上野 5-1-1 文昌堂ビル 10階
JR山手線・京浜東北線・総武線「秋葉原」駅 中央改札口より昭和通り沿いを御徒町方面へ徒歩6分
東京メトロ銀座線「末広町」駅より蔵前方面へ徒歩6分

受講料 12,000円(税込)

講師 はせがわ まさのぶ ビジネス数学インストラクター
オルデナル・コンサルティング代表
長谷川 正恒

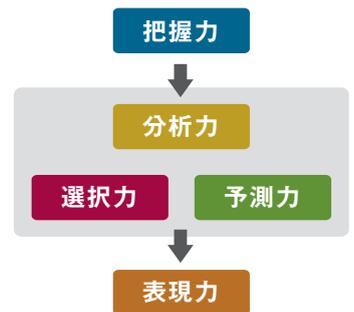
受講対象 ・ 経営者、人事ご担当者
・ 部門にて教育研修導入をお考えの方

定員 25人(最小開催人数：6人)
定員になり次第、締め切ります。

※研修内容は経理財務部門以外の若手～幹部社員を対象としております

「ビジネスに必要な5つの力」とは

ビジネスシーンにおいて必要とされる数学力は、大きく5つに分けられます。物事の状況や特徴をつかむ「**把握力**」、規則性や変化、相関などを見抜く「**分析力**」、いくつかの事象から最適な解を選ぶ「**選択力**」、過去のデータから未来を見通す「**予測力**」、情報を正確に伝える「**表現力**」です。これらの力は、ビジネスシーンの至るところで求められます。



「財務諸表の見方を“ざっくり”学ぶ」とは

ビジネスシーンに難しい会計は不要！会社数字に対する苦手意識を克服する

企業の経営成績が記載されている有価証券報告書は100P以上になるものも珍しくありません。そのため「会社数字＝難しい」と考える方は多いのではないのでしょうか？しかし、財務諸表の大枠を捉えることは決して難しくありません。まずは“ざっくり”財務諸表を理解し苦手意識を克服することが重要です。

財務3表の連動性を“ざっくり”理解する

PL(損益計算書)は何となく理解しているがBS(貸借対照表)やCF(キャッシュフロー計算書)が分からない…といった声をよく聞きます。目標数値になりやすい売上や利益が記載されているPLに対してBSやCFは馴染みが薄いことが理由の一つです。BS・CFを“ざっくり”理解するには「財務3表の連動性」を理解することが近道です。

財務諸表をベースとした企業分析手法を身に付ける

「顧客分析」「同業他社分析」「自社分析」…財務諸表をベースとした企業分析手法を身につけることで仕事の幅が劇的に広がります。ただ、企業分析の重要性は理解できてもどの様にして分析を行うかが分からない方も多いでしょう。本研修では講師が日常的に行っている企業分析のステップを学ぶことで「明日から使える」企業分析手法を身につけられます。

プログラム

Step1 (13:30 ~ 14:10)	Step2 (14:10 ~ 14:50)	Step3 (15:00 ~ 15:40)	Step4 (15:40 ~ 16:40)
イントロダクション、ビジネスシーンにおける3つの数字活用術、財務3表をざっくり理解する。	財務3表の連動性を掴む ：会社設立から事業開始までの状況を理解し財務3表を作成する。	BS/CF理解 ：事例からBS・CFの重要性を学ぶ。	実践演習 ：財務諸表から企業分析を行うことで実務で活用するイメージを掴む。